

英語科学習指導案

学校名: [REDACTED]

教育実習生: [REDACTED]

指導教諭: [REDACTED]

1. 日時：令和6年6月6日（木）B組 第2限（9：30～10：20）
令和6年6月7日（金）J組 第4限（11：30～12：20）

2. 場所：二年B組教室、二年J組教室、

3. 学級：二年B組（41名）、J組（36名）

4. 単元名：Lesson 3 Becoming Attractive to Your Audience

5. 単元の目標:

- （1）本文の新しい単語の意味がわかる。関係代名詞の非制限用法、仮定法過去形などの用法を理解する。
- （2）アスリートのスピーチにみられる4つの特徴についての確に理解し、その内容を整理して伝える。
- （3）日常的な会話などをペアで話し合ったり、シチュエーションに応じた会話を行ったりする。

6. 単元の評価規準：

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
本文の進出単語や熟語の意味や用法を知るとともに、本文の構造を理解する。また関係代名詞の非制限用法、仮定法過去、同格のコンマ、形式主語の it などの文法事項を理解し正確に教アスリートのスピーチに見られる特徴と例を理解する。	実際のアスリートのスピーチを見て、アスリートの心情を予想し感想を述べ合う、自身がスピーチを行うと仮定するとどのようなスピーチにするか、など自ら考え表現し相手に伝える力をつける。	アスリートのスピーチで見られる特徴を理解し、相手に伝えたり表現したりしようとしている。 自ら、積極的に問題に取り組もうという姿勢、またペアアクティビティに参加しようという姿勢がみられる。

7. 単元について

〈児童生徒観〉

ペア活動に意欲的に参加してくれる生徒が多く、指示をすると素早く動き行ってくれる。しかし、英語が得意な生徒・不得意な生徒の差が大きいため。そのため、英文章理解を問う問題などは、日本語訳をペアやクラスで確認し合ったり、早くアクティビティが終わった生徒に対するプラスのタスクを与えることを意識する。

〈教材観〉

アスリートのスピーチに見られる特徴についての確に理解し、その内容をもとに自身がスピーチする際に大切なことについて考えさせたい。教科書で使われている、関係代名詞の非限定用法と仮定法過去形の用法を復習し理解させる。またスピーチの内容に関連したトピックや内容について自ら考え表現する力をディスカッションを通して身につけさせたい。

〈指導観〉

本文の内容に関連したトピックについて自らの考えを表現し、相手に伝えることという他者とのコミュニケーションする力を育ませたい。また、実際のアスリートのスピーチや写真をみせることで英語というものを身近に感じてもらい興味・関心を引き継続的な学びを行うきっかけ作りをする。

8. 単元の指導と評価計画

過程	単元名	主な学習活動内容	資料	主な評価基準 【知】＝知識・技能 【思】＝思考、判断、表現 【態】＝主体的に学習に取り組む態度
第一次	Lesson 3 Part1	自己紹介クイズ 他己紹介 アスリートのスピーチをリスニングしディクテーションを行う	ワークシート、PPT	・教科書のリスニングを聞き、書き取ることができる【知】 ・ペアとディクテーションしたものを比較し、正解を導きだそうとしている【態】
第二次	Lesson 3 Part 1 の内容確認 大坂なおみ選手のスピーチの二つのスピーチにみられる共通点考える	大坂なおみ選手の二つのスピーチの内容を確認 その二つのスピーチにみられる共通点考える	ワークシート	・大坂なおみ選手が行ったスピーチの内容を理解することができる【思】 ・共通点を探しだし、ペアと共有できる【思】【態】
第三次	Lesson3 Part 2 導入と内容確認	アスリートのスピーチにみられる特徴4つのうち、2つを理解する	ワークシート PPT	・アスリートのスピーチにみられる特徴2つを理解する【知】 ・実際の大坂なおみ選手とセリーナ・ウィリアムズ選手とのスピーチを見て、それぞれの心情を考えてみる【思】 ・関係代名詞の非制限用法を理解する【知】

第四次	Lesson3 Part 2 まとめ	本文の音読 アスリート以外の人のスピーチを見て、特徴を 2 つ見つける	ワークシート、 PPT	・新しい単語を覚えている【知】 ・正しい発音やイントネーションで本文を音読することができる【知】【思】
第五次	Lesson 3 Part 3 導入と内容確認	アスリートのスピーチにみられる 3 つめの特徴を理解する	ワークシート、 PPT	・アスリートに見られる 3 つめの特徴を理解する【知】【思】 ・仮定法過去完了の用法を理解する【知】
第六次	Lesson 3 Part 3 まとめ	本文の音読 日常で感謝を述べたい相手について表現しペアで共有し合う	ワークシート、 PPT	・新しい単語を覚えている【知】 ・正しい発音やイントネーションで本文を音読することができる【知】【思】 ・感謝を伝えたい相手について表現することができる【思】 ・ペアと意見交換を行う【態】
第七次	Lesson3 Part 4 導入と内容確認	アスリートのスピーチ見られる 4 つめの特徴を理解する	ワークシート、 PPT	・アスリートに見られる 4 つめの特徴を理解する【知】【思】 ・仮定法過去形の用法を理解【知】【思】
第八次	Lesson3 Part 4 まとめ	単語小テスト 本文の音読		・アスリートのスピーチにみられる特徴の 4 つ目を理解しながら正しい発音で音読する【知】【思】 ・自身がスピーチをすると仮定し、4 つの特徴を使い表現することができる【思】【態】

9. 本時の目標

- ① アスリートのスピーチにみられる特徴の4つ目を理解しながら正しい発音で音読する。
- ② 自身がスピーチをすると仮定し、4つの特徴を使い表現することができる

10. 本時の展開（指導過程）

段階	学習活動	学習活動への支援と留意点	評価の観点と方法
テスト (5分)	Wordbox 単語小テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・プリントは事前に配布準備を行う。 ・全員が机の上のものを片付けたかを確認した後に配りテストであるという緊張感をもたせる 	回収し、丸付けを行う
導入 (4分)	挨拶と Small Talk	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアができている確認をする ・机間巡視を行い生徒たちとコミュニケーションをはかることでクラスの雰囲気をつかむ 	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的にペアとコミュニケーションをとろうとしている【態】
展開① (4分)	宿題の発音確認 (Work book)	<ul style="list-style-type: none"> ・正確な発音の仕方を日常で扱う日本語の音を例に示すことで理解しやすくする 	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい発音を理解している【知】 ・正しい発音で音声に続いて発音しようとしている【態】
展開② (13分)	前回の復習 <ul style="list-style-type: none"> ・本時の目標を確認 ・単語チェック ・本文の内容確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアで確認しあってもらうことで、話し合うということに抵抗を減らす ・前回したことを思い出し、次への学習につなげやすくする ・指示はわかりやすく大きな声で行う ・起立、着席などをさせ、動きのある授業を行う ・早く終わったペアにもその後のアクティビティを指示 	<ul style="list-style-type: none"> ・Part4の内容を覚えている【知】 ・単語確認のペアアクティビティを行おうとしている【態】
展開③ (15分)	音読練習 <ul style="list-style-type: none"> ・教科書音声 ・先生の後をリピート ・一人で練習 ・ペアと Tell&Repeat 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の音声教材で聞く、一人で練習、ペアと練習など段階を踏み少しずつ難易度をあげることで飽きさせない ・指示はわかりやすく的確に（なるべく英語で行う） ・起立、着席などの動きをいれる 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書本文の正しいアクセントや発音を理解する【知】 ・正しい発音やイントネーションを理解し自身で表現することができる【思】 ・ペアに本文を伝えようとしている【態】
展開④ (8分)	Writing & Speaking <ul style="list-style-type: none"> ・この単元のまとめとしてアスリートにみられる4つの特徴のうち少なくとも一つを使って、スピ 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現の例や4つの特徴をまとめたものを表示して足場架けを行う ・目的、場面、状況を絞って、書きやすいようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ・アスリートにみられる4つの特徴を理解している【知】 ・自分がその状況であればどうするかを考え表現することができる【思】

	一十の穴埋めを考えてみる		
まとめ (2分)	この授業や単元で学んだことを振り返る		・この単元の内容を理解できる 【知】

7 Finally, showing humility is a technique quite unique to the speeches of professional athletes.

They intentionally confess their worries or weaknesses in their speeches, which hurts no one and makes a favorable impression on listeners. Being humble can be difficult, but athletes often use this technique in their speeches.

8 At the awards ceremony for Rookie of the Year, Shohei Otani was holding his notes for his speech.

He looked down at them frequently during his speech. However, he finished his speech with the sentence, "Hopefully, I will not need this cheat sheet the next time I'm up here." Showing humility made his audience laugh at just the right time.

9 You can learn what professional athletes think by looking at these four special features in their victory speeches. When you deliver a speech in English, you can use some of these techniques to make your speech more impressive. If you analyze athletes' outstanding speeches, you too can become a speaker who is attractive to your audience.

technique	名	手法、テクニック
intentionally	副	わざと、故意に
confess	動	…を打ち明ける、 …を認める
weakness	名	弱さ、欠点
favorable	形	好意的な、 好感を得るような
impression	名	印象
humble	名	謙虚な、謙遜した
frequently	副	たびたび、頻繁に
hopefully	副	できれば
cheat	名	カンニング
audience	名	聴衆、観客
impressive	形	印象的な
analyze	動	…を分析する
outstanding	形	優秀な、傑出した
make an impression on...		…に印象を与える
finish A with B		BしてAを終える、 AをBで終える
the next time		次に～するときは
at the right time		適時に
be attractive to...		…を引き付ける

Comprehension Questions

1, How do professional athletes show humility in their speeches?

2, What happened when Shohei finished his speech?

3, How can you learn what professional athletes think?

7 Finally,	最後に
showing humility is a technique	謙虚さを示すことはテクニックです
quite unique to the speeches of professional athletes.	プロスポーツ選手のスピーチに特有の。
They intentionally confess their worries or weaknesses in their speeches,	スピーチの中で自分の悩みや弱点をあえて告白することで
which hurts no one	だれも傷つかず
and makes a favorable impression on listeners.	聞き手にも好印象を与えます。
Being humble can be difficult,	謙虚になることは難しいことかもしれません
but athletes often use this technique in their speeches.	しかしスポーツ選手はスピーチでよくこの技術を使っています。

8 At the awards ceremony for Rookie of the Year,	新人王の授賞式で
Shohei Otani was holding his notes	大谷翔平選手はメモを手にとっていました。
for his speech.	スピーチ用の
He looked down at them frequently	何度もメモに目を落としていました
during his speech.	スピーチの途中で。
However,	しかしながら、
he finished his speech	彼はスピーチを終えました
with the sentence,	一文を残して
"Hopefully, I will not need this cheat sheet	「願わくば、このカンニングペーパーを必要としないようにしたい
the next time I'm up here."	次にここに立つときには。」
Showing humility made his audience laugh	謙虚さを見せたことが、聴衆の笑いを誘いました。
at just the right time.	絶妙なタイミングで。

9 You can learn	学ぶことができます
what professional athletes think	プロスポーツ選手が何を考えているかを
by looking at these four special features in their victory speeches.	勝利スピーチでのこの 4 つの特別な特徴をみることで。
When you deliver a speech in English,	あなたが英語でスピーチをする時、
you can use some of these techniques	これらの技術のいくつかを用いて
to make your speech more impressive.	スピーチをより印象的なものにすることができます。
If you analyze athletes' outstanding speeches,	スポーツ選手の傑出したスピーチを分析すれば
you too can become a speaker	あなたも話者になることができます
who is attractive to your audience.	聴衆を魅了する。

Task: Let's try to make your victory speech!!!

● Situation:

- You are a professional table tennis player.
- You are the captain of the Japan team.
- You won the final match and you got the gold medal at the 2024 Olympics.
- All the people in Japan were cheering for you.
- You have to make a victory speech in English.

● Your opponent: Tom

- He got an injury but he overcame it.
- He is a legend of table tennis player, so you respect him very much.

